



1日船長を務めた秋田テレビの滝沢アナ

澄んだ空気と美しい景色を堪能

太平湖・小又峡紅葉まつり開幕

紅葉シーズンの到来を告げる「太平湖・小又峡紅葉祭り2005」が10月2日に開幕し、多くの観光客が訪れて色づき始めた秘境を堪能しました。

30日までの開催期間中（土・日・祝祭日）は特産品・旬の物販売コーナーを設置するほか、国民宿舎「森吉山荘」ペア宿泊券が当たる小又峡ウオーカーラリーなどが行われます。レモニーでは、秋田テレビアナウンサーの滝沢雄一さんが一日船長として任命され、関係者との鏡割の後、森吉丸に乗船し、観光客と共に三階滝までの散策を楽しみました。葉の色づき具合は一日毎に濃くなり、見頃は10月中旬から下旬になりそうです。

本市ユニカルチーム全国制覇 110チームの頂点 県勢で初の快挙



市長に全国優勝の報告をするチームメンバー

第10回全国ユニカル大会が去る9月18日、東京駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場で開かれ、全国から110チームが参加し、その頂点を北秋田市Bチームが制し、本県では初となる全国優勝を飾りました。

メンバーの小坂敬二さん（花園町）・畠山辰夫さん（米代町）・畠山イセさん（米代町）は「気楽な気持ちで挑戦したのがよかつた。この競技の普及につながつてくれれば」と優勝の感想を話してくれました。

この競技は、冬季五輪でお馴染みとなつたカーリングを水上에서도できるようにスウェーデンで考案されたもので、近年、愛好者が急速に増えているニュースポーツです。

阿仁地区の「古希を祝う会」が9月28日、阿仁保健・福祉センターで行われました。対象者は、昭和10年4月2日から11年4月1日生まれの84人で、54人が出席し、満面に笑みを浮かべながら長寿の節目を祝いました。柏木祥吉実行委員長が「70歳を過ぎても一线で活躍している。これからも健康に留意して米寿、白寿も今日集まつた皆さんと一緒に祝いたい」とあいさつ。引き続き行われた祝宴では、実行委員の松橋宏司さんが「力まず、焦らず」、齊藤和さんは「すばらしい私のふるさと」と題して、これまでの人生を振り返りました。その後、地元参加者は互いに健康で古希を迎えたことを喜び合いました。

いつまでも輝いて 阿仁地区「古希を祝う会」



鷹巣西小児童らによる「縄文祭礼劇」

国指定史跡「伊勢堂岱遺跡」をPRする秋のイベント「縄文まつり（佐藤喜美男実行委員長）」が10月1日、あきた北空港ふれあい緑地公園を主会場に開催され、あいにくの雨にたたられながらも子どもたちや歴史ファンが古代のロマンに思いをはせました。

恒例の「縄文祭礼劇」には鷹巣西小の6年生が縄文人の衣装を身に着けて出演、環状列石の成り立ちを表現力豊かに演じました。特設テントでは土偶や勾玉づくり、弓矢的当てなどの縄文体験にチャレンジ。遺跡現地の見学会へは秋田市からも訪れ、ボランティアガイドの説明を熱心に聞き入っていました。

ガイドの説明を熱心に聞き入っていました。特設テントでは土偶や勾玉づくり、弓矢的当てなどの縄文体験にチャレンジ。遺跡現地の見学会へは秋田市からも訪れ、ボランティアガイドの説明を熱心に聞き入っていました。

第5回北秋田市縄文まつり



盛大に行われた40周年記念式典

よりよい福祉社会をめざして 大野台の里創立40周年記念式典

総合福祉施設大野台の里創立40周年式典が9月30日、同施設の愛生園体育館で開催され、施設利用者や来賓、関係者など約250人が出席し、創立40周年を祝いました。

式では、同施設を運営する社会福祉法人秋田県民生協会の松岡稔理事長が「自然環境が良好な大野台で、これからも利用者の立場に立つて福祉に取り組んでいきたい」とあいさつ。そして、利用者を代表して石上智さんが「40周年をお客さんとともに迎えられたことは、とてもうれしい。これからも仲間たちと元気にがんばりたい」と決意を述べました。

昭和40年に愛生園として開設し、現在は14施設、800人を越える利用者がいます。



約束ごとの説明を真剣に聞くチビッコプレイヤー

阿仁合保育園児を対象に10月4日、阿仁体育馆で秋田県サッカー協会公認のキッズリードー遠藤洋子さんとインストラクターの高橋淳さんをコーチに迎えて、北秋田市では初めてなるサッカーの巡回指導が行われました。ウォーミングアップは、動物の「ものまね鬼ごっこ」で思いっきり体を動かしたり、ドリブルを取り入れて、障害物を乗り越えバランス感覚を養う基礎づくりも行いました。この後、4チームに別れ、いよいよ試合開始です。フットワークやシュートを決める足の動きはいつの間にかコーチ顔負けのプレー続出で、応援している先生や園児たちから大きな声援と拍手が沸き起きました。

将来はJリーガー！ 阿仁合保育園児にサッカー指導